

# 100年節目の 佐倉地区で植樹 平田建設貢献活動

【土幌】町内の平田建設（野中栄忠社長）は24日、佐倉神社（町土幌東7線）の参道で、エゾヤマザクラの苗木14木を植樹した。

2010年から続ける地域貢献活動の一環。町内13行政区に植樹する計画で、これまでに下居辺、上居辺、町交通公園、町遊水公園、中土幌で作業を終えた。

今回は、佐倉地区と小学校がそれぞれ開基・開校100周年を迎えたことから、記念植樹として企画した。

この日は社員30人に加え、佐倉小学校（清水敏文校長、児童23人）の全校児童も参加した。

社員から作業内容に関する説明を受けた後、各自10班に分かれてスコップで穴を掘るなど協力し合って取り組んだ。

花が咲くまで3、4年は

かかると思われ、児童会長の篠原大河君（11）は6年間は「きれいなサクラがいいな」と待ちぼうちだった。5月中にも同校付近に記念植樹を周知する看板を設置する。

（小縣大輝）



社員の手ほどきを受けて苗木を植樹する児童